

女神さま・オープン(3ヵ月決算型)の運用状況

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

2018年3月28日

当レポートでは、米国株式市場の足元の動向と当面の注目点及び今後の運用方針についてお伝えいたします。

保護主義的な通商政策を懸念し下落

3月の米国株式市場は、前半は好調な経済指標を好感して上昇しました。2月の雇用統計では、前月に急上昇した平均時給が予想以下の伸びとなったことも安心材料となりました。しかし、月後半はトランプ政権による鉄鋼とアルミニウムの輸入関税導入や、中国製品に対する「通商法301条」の発動などの保護主義的な通商政策が嫌気され大きく下落しました。また、ティラーソン国務長官やコーン国家経済会議委員長といった自由貿易支持派が相次いで辞任したことも、今後のトランプ政権への不透明感が増す要因となっています。

中小型株は相対的に小幅の下落率

図表1は、米国の主要株価指数の1ヵ月間の推移です。中小型株の代表的な指数であるラッセル2000種は、大型株のS&P500種やNYダウと比較して、下落率が小幅になっています。これは、中小型株は米国国内での事業割合が高く、貿易摩擦による影響が大型株に比べて小さいため、相対的に選好されていると考えられます。

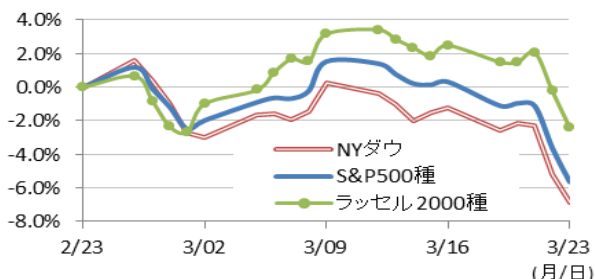
企業業績は引き続き好調

2月以降、米国株式市場は軟調な展開が続いています。一方、企業業績は、引き続き上方修正が続いています。図表2は、S&P500種のEPS(1株当たり利益)の2018年、2019年の予想成長率です。1月26日時点と3月23日時点と比較すると、2018年の同成長率は+18.7%から+20.7%、2019年も+10.2%から+11.0%に上昇しています。

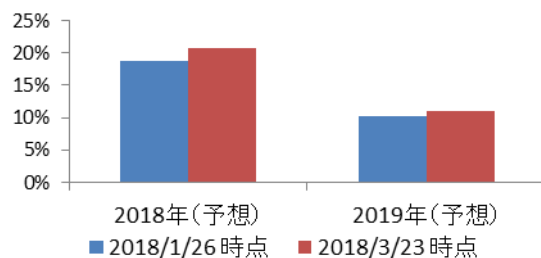
図表3は、過去5年間のS&P500種の予想EPS(12ヵ月先)と終値の推移です。2015年から2016年前半にかけて指数は、1年以上の調整局面となりましたが、この局面は予想EPSが、横ばいから減益になっている期間とほぼ一致しています。

これに対し、現在は予想EPSの増益が、継続している局面での株価下落であり、下落が長期化する可能性は低いと考えています。

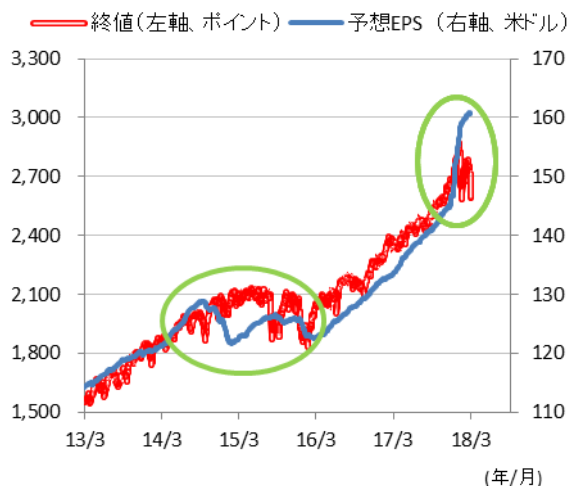
図表1 S&P500種、NYダウ、ラッセル2000種指数の推移
(2018年2月23日～2018年3月23日、日次、配当込み、米ドルベース)
(注)2月23日を起点とした騰落率の推移



図表2 S&P500種の2018年、2019年の予想EPS成長率



図表3 S&P500種の予想EPSと終値の推移
(2013年3月22日～2018年3月23日、日次)



予想EPSは12ヵ月先の値を使用

(出所)図表1,2,3は、Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

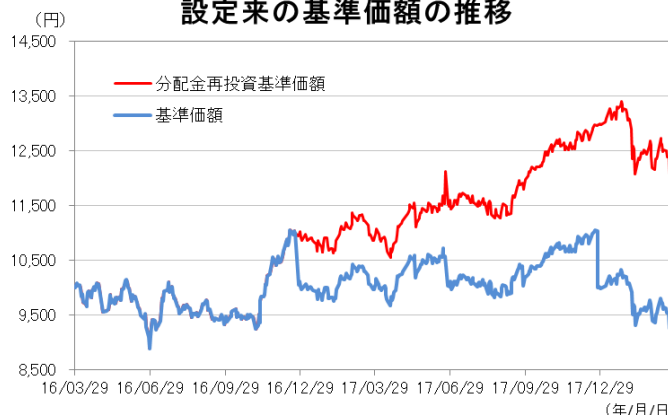
＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

運用状況 (作成基準日 2018年3月23日)

設定来の基準価額の推移



※上記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
※分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ファンドデータ

基準価額(円)	9,274
残存元本(口)	1,918,235,688
純資産(円)	1,778,904,130
実質株式組入比率(%)	90.0
現金比率(%)	10.0
組入銘柄数	65

■ 直近5期の分配金の推移

決算期	分配金(円)
第8期(2018年3月26日)	0
第7期(2017年12月26日)	1,050
第6期(2017年9月26日)	250
第5期(2017年6月26日)	550
第4期(2017年3月27日)	0

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
※比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。
※各決算期における分配金は1万口当たり(税引前)です。

組入上位10セクター

	セクター名	比率
1	資本財	15.3%
2	ソフトウェア・サービス	13.1%
3	ヘルスケア機器・サービス	8.5%
4	各種金融	8.1%
5	小売	6.7%
6	半導体・半導体製造装置	6.6%
7	銀行	5.3%
8	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.9%
9	公益事業	3.9%
10	保険	3.9%

組入上位10銘柄

	銘柄名	セクター	比率
1	アマゾン・ドット・コム	小売	3.1%
2	ネクステラ・エナジー	公益事業	2.9%
3	フォーティブ	資本財	2.9%
4	アボットラボラトリーズ	ヘルスケア機器・サービス	2.8%
5	アドビシステムズ	ソフトウェア・サービス	2.7%
6	ハリス	資本財	2.6%
7	アップル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.5%
8	アルファベット	ソフトウェア・サービス	2.5%
9	MSCI	各種金融	2.4%
10	S&Pグローバル	各種金融	2.4%

※比率は、米国連続増配成長株マザーファンドの純資産総額に対する組入比率です。

足元の運用経過と運用方針について

足元の運用につきましては、当初方針に沿って、業績見通しが良好なソフトウェア株の買付けを行いました。また、長期金利の上昇が業績に追い風となる各種金融株の買付けも行いました。一方、ドル安による原材料価格の上昇がマイナス要因となる食品株や小売株については、一部売却を行いました。

当面の米国株式市場は、上値の重い展開を予想します。トランプ大統領による保護主義的な通商政策は、貿易相手国との摩擦を生じさせ双方にとってマイナスの影響を及ぼします。現時点では、大規模な「貿易戦争」となる可能性は低いものの、株式市場は短期的にはリスク回避的な動きが続くと考えます。

当面の運用につきましては、政策の不透明感に左右されない成長シナリオを持つソフトウェア株などを中心にウェイト付けします。一方、原材料コストの増加が懸念される食品小売株については売却を検討します。

以上
(作成:運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、米国の株式等価値のある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「流動性リスク」、「カントリーリスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
 - ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
 - 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.566%（税抜1.45%）
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.01296%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。



販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次販売会社が含まれております。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
(金融商品取引業者)					
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
エース証券株式会社	近畿財務局長(金商)第6号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)